

ジュニア賞

ぜつめつすんぜんの植物を守ろう

大恵 朱実 (小学4年生：兵庫県)

わたしの家の近くに海岸があり、そこにはハマヒルガオやハマゴウなどめずらしい海ひん植物がたくさんはえています。中にはぜつめつが心ばいされている植物があり、わたしはそれらを守りたいと思いました。

どうしてぜつめつしそうなのかと言うと、外来植物が元々日本にあったざい来植物をダメにしてしまうからです。

たとえば、とく定外来生物の指定を受けているオオキンケイギクは、育てることがきんしされています。なぜかと言うと、ものすごいいきおいでそだつために、ざい来植物のそだつ場所をうばってしまうのです。

ざい来植物を守るためには、外来植物をなくすひつようがあります。しかしそのことを知っている人はあまりいません。そこで、ゲームにすればいいのではないかと考えました。

まずはどれがざい来植物で、どれが外来植物かを写真を使ってゲームで覚えます。次に、外来植物をとりのぞく方法も覚えます。なぜなら、とりのぞく時に種をまきちらしてしまうと、意味がなくなってしまうものがあるからです。とりのぞく時期もとても大事です。

ゲームに正かいですると、ポイントがもらえます。その分だけざい来植物が育って、外来植物がかれていくようなし組みがあれば、おもしろいと思いました。

ゲームで楽しく覚えれば、多くの人にぜつめつすんぜんの植物について知ってもらうことができます。それに、ざい来植物をざっ草とまちがえてぬいてしまうこともふせげます。

コロナで外来植物を取る集まりがなくなり、外来植物がふえるいっぽうだと新聞で見ました。一人でも多くの方がこ人で外来植物を取りさることができるように、このゲームでたくさんの人に知ってほしいと思います。